

News Letter Vol. 10

2025年3月発行

このニュースレターでは学生達の活躍、講義や実習の様子、学科の取り組み、動物豆知識などを紹介します。獣医保健看護学科に興味を持ってくれた高校生の皆さんとのコミュニケーションツールになればと思っています。

人と動物がよりよく共生するための生活環境を理解する

愛玩動物看護師は動物病院で病気やけがをしたペットの看護を行うイメージが強いかもしれませんが、「適正飼養分野」でも重要な役割を担っています。2年生科目「動物生活環境学」では、人と動物がよりよく共生するための生活環境について学びます。この科目では、以下のような内容を扱います。

- ❖ **飼養環境整備**：快適で安全な飼育環境づくり、飼い主のマナー、事故やけがの防止策
- ❖ **ペットツーリズムやイベント活動**：
観光施設やドッグランの管理、ペットイベントの企画と運営
- ❖ **動物愛護施設やシェルターの整備**：
愛護センター職員を招き現場の課題と取り組みについて学習
- ❖ **社会化トレーニングやペット教育施設**：
動物の社会性を育むトレーニングの重要性、トレーニング施設の環境整備
- ❖ **学校飼育動物と教育**：教育現場での動物活用における環境整備や役割



また、グループワークでは「仮想動物イベント」のポスターを作成し、発表や投票を通じて優秀な作品を選出します。ペットの健康管理だけでなく、適正飼養や動物福祉について広い視野を持つ力を育むことで、人と動物がより良い関係を築く社会づくりに貢献するスキルを身につけます。

大学の先生たちがどんな研究をしているのか “のぞき見”

研究テーマ：周麻酔期における体温管理

【獣医療看護分野：清水 夕貴】

Q1 その内容に取り組もうと思ったのはなぜですか？

低体温は身体機能に悪影響を及ぼすだけでなく、いたみの増強や不快感を引き起こします。動物病院では日常的に麻酔処置が行われますが、多くの麻酔薬が体温を低下させます。麻酔処置の安全性を高め、動物に快適な環境を提供したいという思いから、この研究に取り組んでいます。

Q2 どのようなことが分かりましたか？

動物病院で幅広く使用されている湯たんぽや加温輸液は、体温低下の抑制効果が極めて限定的であることが明らかとなりました。それぞれの体温管理ツールの効果を正しく理解した上で、動物の状態や使用状況に応じた適切な配慮が必要となることが分かりました。

Q3 今後の目標はなんですか？

全身麻酔中の低体温を完全に予防することは困難な課題ですが、より効果的な体温管理方法の検討を続けていきたいと考えています。また、新たな試みとして、麻酔回路内の温湿度に関する研究にも取り組む予定です。

Q4 高校生へメッセージ

ふだん何気なく行っていることや当たり前になっていることの中に、実はまだ解明されていない「なぜ？」が隠れています。獣医保健看護学科で、動物に関わる「なぜ？」を一緒に探求しましょう！



学科のマスコットキャラクター誕生！

獣医保健看護学科に新しい仲間が加わりました！オリジナルキャラクターは、英名「ナイチンゲール（Nightingale）」の「小夜啼鳥（サヨナキドリ）」をモチーフにしました。ナイチンゲールは看護の歴史に深く関わっていることから、この鳥が選ばれました。

サヨナキドリは、その穏やかでやさしい鳴き声が周囲に安心感を与える鳥として知られています。このサヨナキドリのように、動物と人に寄り添い、その健康を守る人材（VPP※）を本学科は養成したいと考えています。このキャラクターたちは、そんな使命を象徴する存在として誕生しました。

3羽のキャラクターたちは、それぞれが異なる分野を象徴しながらも、力を合わせて動物と人の健康を守るチームのような存在です。これから学科の活動で大活躍する予定です！

※ VPP（Veterinary Para-Professional）とは獣医関連専門家。動物の健康や福祉に関する専門的な業務において、獣医師と連携できる実践的な能力を有する人材のことです。

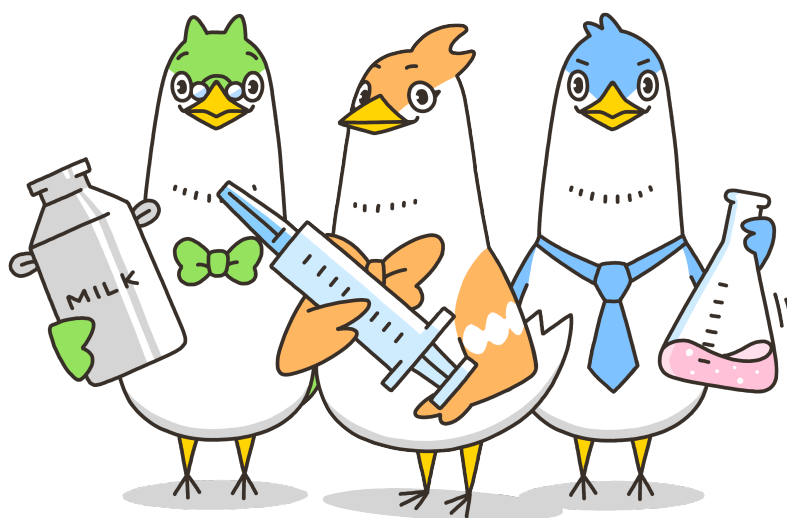
ユメ
(YUME)

獣医療看護分野のマスコットキャラクター。オレンジ色のナイチンゲールで、いつも笑顔が絶えないムードメーカーです。
動物たちと飼い主さんの架け橋となる動物看護の現場を象徴しています。
動物たちを病気から守る！と注射器を持った頼もしい姿が印象的！

シマ
(SHIMA)

公共獣医事分野のマスコットキャラクター。緑色のナイチンゲールで、穏やかでのんびりした性格です。

社会の中で動物と人の健康を守る分野を代表しています。眼鏡と牛のツノをイメージさせる髪型がトレードマーク！



ナミ
(NAMI)

ライフサイエンス分野のマスコットキャラクター。青色のナイチンゲールで、自信に満ちたドヤ顔がチャームポイントです。

研究や科学の力で動物と人の未来を切り開く役割を担っています。実験器具を手にも、頼れる存在です。

発行元 岡山理科大学 獣医学部 獣医保健看護学科

お問い合わせ先

〒794-8555 愛媛県今治市いこいの丘1-3

TEL（代表）：0898-52-9000

